

## 第7 再生のスケジュール

谷中霊園は、天王寺以来の歴史のある霊園であることから、再生については、霊園の歴史などの調査を踏まえて計画を定めることが求められる。

また、再生事業に着手した後は、事業の効果を早期に都民に還元していく必要があることから、再生のテーマを概ね10年程度で実現できるよう、取組みを進めるべきである。

## 用語解説

- 1 区部霊園  
23区内にある青山、谷中、雑司ヶ谷、染井の4つの都立霊園。明治6年(1872)の太政官布達により、市街地における墓地の新設、拡張が衛生上の理由から禁止されたが、市民の墓地に対する需要は高く、翌7年6月には青山など9ヶ所(この時は青山の立山地区が区別されていたため実質8ヶ所)が今でいう公営墓地として指定され、同年9月、青山、谷中、雑司ヶ谷、染井及び亀戸(後に廃止)の供用が開始された。
- 2 東京都霊園問題調査会  
昭和61年6月に設置された知事の諮問機関。昭和63年3月に、現代における墓地の理念や、都における霊園行政のあり方等について報告した。
- 3 東京都霊園管理問題等検討委員会  
平成6年3月に設置された知事の諮問機関。平成9年3月に、都立霊園の役割、使用料や管理料など都立霊園の管理に関する事、既存霊園の整備活用等について答申した。
- 4 オープンスペース  
公園、広場、河川、湖沼、山林、農地など、建物によって覆われていない土地の総称。
- 5 公園墓地  
修景施設や休憩施設を設けて公園的に計画された墓地。大正12年(1923)に開設された多磨墓地(後に多磨霊園と改称)は、日本ではじめての公園墓地であり、その後の日本の墓地計画に大きな影響を与えた。
- 6 郊外部の四霊園  
多摩部にある八王子、多磨、小平及び千葉県松戸市にある八柱の4つの都立霊園。
- 7 天王寺  
台東区谷中にある。鎌倉時代後期、日蓮の弟子である日源によって開かれた。当時は長耀山感應寺とあったが、幕命により元禄11年(1698)天台宗に改宗、天保4年(1833)に護国山天王寺と改名。明治元年(1868)の戊辰戦争により本坊と五重塔を残して焼失した。
- 8 東京会議所  
東京商工会議所の前身。寛政3年(1799)に半官半民の救済事業機関として江戸町会所が設立され、明治5年3月に東京営繕会議所、同年9月東京会議所となった。
- 9 崖線  
長くつながった「がけ状」の地形。
- 10 寛永寺  
台東区上野桜木にある。山号は東叡山。天海により寛永2年(1625)に開かれた。創建当時は江戸城の鬼門を守る祈願所であったが、のちに増上寺とともに徳川将軍家の菩提所となった。現在の上野公園一帯はほとんどが寛永寺の寺領であったが、戊辰戦争の戦火でその多くを失った。
- 11 東京都地域防災計画  
災害対策基本法の規定により、東京都防災会議が策定する防災に関する計画。都、区市町村、指定地方行政機関、自衛隊、指定公共機関、指定地方公共機関等の防災機関が、その有する全機能を有効に発揮して、都の地域における地震災害の予防、応急対策及び復旧・復興対策を実施することにより、住民の生命、身体及び財産を保護することを目的とする。

## 1 2 避難場所

震災時の市街地大火から都民の生命を守るため、東京都震災対策条例に基づいて指定されているもの。区部では、大規模公園や緑地など 170 か所が指定されている。

## 1 3 幹周り

樹木の幹の周囲の長さのこと。通常、根元から 1.2 m の高さにおける幹周りを測定する。幹が 2 つ以上あるものは、それぞれの幹周りの総和の 7 割とする。

## 1 4 富突

寺社の維持費用を生み出すために江戸幕府が許可したもので、現在の宝くじにあたる。感應寺の富突は目黒不動尊や湯島天神とともに江戸の三大富突と呼ばれた。

## 1 5 江戸名所図会

天保 5 年（1834）同 7 年（1836）の 2 回に分けて出された江戸の地誌。内神田雉子町の名主を務めた斎藤幸雄・幸孝・幸成が親子三代にわたって編纂した。一千件以上の名所が収録されている。

## 1 6 谷中地区まちづくり協議会

住民による自主的なまちづくりを進めるために、平成 12 年（2000）7 月に設立された。谷中地区町会連合会や下谷仏教会、谷中コミュニティ委員会、商店会等により構成され、協議会の下部組織には、防災部会、環境部会、交通部会がある。

## 1 7 青山霊園使用者アンケート

東京都が、青山霊園再生事業の検討にあたり、墓所使用者の意向を把握するために、平成 15 年（2003）5 月、全墓所使用者 14,178 名を対象として実施した。10,640 名から回答があり、回答率は約 75%であった。

## 1 8 承継

都立霊園の使用許可を受けた者が死亡した場合などに、その墓の祭祀主宰者が引き続き霊園を使用する許可を受ける行為のこと。都立霊園条例第 19 条の定めによる。

## 1 9 合葬式墓地

一つのお墓に多くの遺骨を一緒に埋蔵する形式の墓地。東京都においては、平成 9 年 3 月の東京都霊園管理問題等検討委員会答申で提言され、平成 10 年度から導入された。現在、小平霊園及び多磨霊園にある。遺骨については、使用許可後 20 年間は骨壺の状態で保管し、その後、骨壺から出して合祀する。

## 2 0 立体式墓地

青山霊園再生事業において、平成 16 年度に設置した新しい形式の墓地。墓所を立体的に集合させた形態であり、使用区画が明確で、遺骨と向かい合ってお参りができる。一般埋蔵施設と同様に承継が可能であるが、無縁墳墓となることを防ぐため、使用許可後 20 年を経過した時点で、地下のスペースに共同埋蔵する。

## 2 1 行政財産

地方公共団体において公用または公共用に供し、または供することに決定した財産。公用財産とは、地方公共団体が事務や事業を執行するために、直接使用することを目的とした公有財産。公共用財産とは、不特定多数の住民の利用に供することを目的とした公有財産。

## 2 2 N P O

Nonprofit Organization の略。民間の非営利組織のことで、福祉や環境、国際協力、人権問題などの社会的な課題に、市民が主体的に取り組んでいる組織。

資料出典一覧

〔図〕

番号	タイトル	出典
図-1	谷中霊園位置図	東京都建設局資料より作成
図-2	谷中霊園平面図	東京都建設局資料より作成
図-3	武蔵野台地東端沿いの緑の分布	ランドサットデータに基づく衛星画像地図より作成
図-4	南北の緑の骨格軸	東京都公園審議会答申「都立公園の整備と管理のあり方について」(平成15年(2003)6月)P22
図-5	台東区における谷中霊園の位置づけ	台東区「台東区緑の基本計画」(平成14年(2002)3月)P11
図-6	園内の樹木の分布	東京都建設局資料より作成
図-7	台東区内の防災・避難施設	台東区「台東区都市づくりのための基礎資料」(平成16年(2004)3月)P46
図-8	台東区北西部とその周辺の文化財の分布	東京都教育委員会「東京都文化財総合目録(一)(国・都)」(平成16年(2004)3月)より作成
図-9	谷中霊園周辺の寺社・文化財・古くからの道・伝統的建造物の分布	台東区「台東区谷中地区まちづくり事業調査」(平成16年(2004)3月)P35「歴史的文化的ストック活用計画図(案):伝統的建造物」の図面を基に、霊園の区域、周辺地域との位置関係を加筆
図-10	江戸名所図会「谷中感應寺」	鈴木棠三「新版 江戸名所図会」(昭和50年(1975)1月)
図-11	谷中地区、上野地区の観光資源	東京都産業労働局「上野地区観光まちづくり基本構想」(平成16年(2004)年3月)P7~8
図-12	谷中・上野桜木地区まちづくり憲章	台東区「台東区谷中地区まちづくり事業調査」(平成16年(2004)3月)P42
図-13	台東区における谷中地区のまちづくりの考え方	台東区「台東区谷中地区まちづくり事業調査」(平成16年(2004)3月)P3、4、5より作成
図-14	谷中霊園再生の概念図	審議会作成
図-15	青山霊園使用者の墓所移転に関する意向	東京都建設局パンフレット「青山霊園のご使用者のみなさまへ」(平成16年(2004)年2月)P8 *用語解説 注12「青山霊園使用者アンケート」参照
図-16	青山霊園使用者の墓所返還に関する意向	東京都建設局パンフレット「青山霊園のご使用者のみなさまへ」(平成16年(2004)年2月)P9 *用語解説 注12「青山霊園使用者アンケート」参照

〔表〕

番号	タイトル	出典
表-1	谷中霊園の概要	東京都建設局資料より作成
表-2	幹周り150cm以上の樹木の本数	東京都建設局資料より作成
表-3	幹周り150cm以上の樹木の出現数上位10種	東京都建設局資料より作成
表-4	谷中霊園内の文化財	東京都教育委員会「東京都文化財総合目録(一)(国・都)」(平成16年(2004)3月)より作成
表-5	再生方針とその実現に向けた取り組みの関係	審議会作成

〔写真〕

p.22 立体式墓地等の写真(青山霊園を除く)は(社)全日本墓園協会提供

上記以外は全て東京都建設局撮影

名簿

東京都公園審議会名簿

区分	氏名	所属
会長	田邊昇學	(社)日本公園緑地協会会長
副会長	樋渡達也	元東京農業大学客員教授
委員	石川幹子	慶應義塾大学教授
委員	熊谷洋一	東京大学大学院教授
委員	齋藤勝	元(財)東京動物園協会理事長
委員	高石昌子	弁護士
委員	田代順孝	千葉大学教授
委員	田中邦熙	木更津工業高等専門学校教授
委員	永井多恵子	ジャーナリスト
委員	半田真理子	(財)都市緑化技術開発機構 都市緑化技術研究所長
委員	河島敬子	裁判所職員
委員	林田武	東京都議会議員 環境・建設委員会委員長
委員	浅野僚也	財務省 関東財務局東京財務事務所長
委員	高梨雅明	国土交通省 都市・地域整備局公園緑地課長
専門委員	井手久登	東京大学名誉教授
専門委員	藤井正雄	大正大学名誉教授
専門委員	村上恵一	(社)全日本墓園協会事務局長

東京都公園審議会 霊園専門部会名簿

区分	氏名	所属
部会長	井手久登	東京大学名誉教授
委員	半田真理子	(財)都市緑化技術開発機構 都市緑化技術研究所長
委員	樋渡達也	元 東京農業大学客員教授
委員	藤井正雄	大正大学名誉教授
委員	村上恵一	(社)全日本墓園協会事務局長

これまでの審議日程

第1回 東京都公園審議会 平成16年12月2日

第1回 霊園専門部会 平成17年1月25日

第2回 霊園専門部会 平成17年2月21日

第2回 東京都公園審議会 平成17年3月28日

第3回 霊園専門部会 平成17年4月20日

第3回 東京都公園審議会 平成17年5月18日